

成果の説明書

(氏名) 野崎謙二	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ポーランド・ヴロツワフ経済大学との共同出版プロジェクトに”Production Network of Automobile Industry in the Greater Mekong Sub-region: Comparison to Europe”と題する原稿を提出した。現在査読コメントを踏まえて最終版を提出したところであり、2021年度に出版される予定である。・2021年2月に開催された本学地域科学研究所研究プロジェクト「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」公開研究会(ベトナム・タイ進出企業等の事例報告)で「タイの自動車産業を素材で支えるー群栄化学工業株式会社ー」をテーマに報告を行った。また、同プロジェクトの出版計画『地方都市における中小製造業の存立基盤とグローバル展開：群馬県高崎市を中心とした事例研究（仮タイトル）』（2021年出版予定）の「第8章 ベトナム経済・タイ経済の現況と日系企業の活動状況」共著で、「第14章 タイの自動車産業を素材で支える：群栄化学工業株式会社」を単著で執筆し、原稿を提出した。	
<p>2 その他の事項</p> <p>(1) 学会活動等</p> <ul style="list-style-type: none">・日本地域学会理事として、学会の運営に貢献した。・国際経済学会第79回大会(2020年10月、オンライン)第10分科会に討論者として参加し、高安雄一氏報告「地域特性が韓国農業の外国人労働者雇用に与える影響にかかる考察」に対してコメントし、討論に参加した。・日本地域学会第57回年次大会(オンライン、2020年12月)に座長・討論者として参加し、セッションA第4会場「企業と経営」の座長、木南章氏他報告「新規開業における起業家精神に関するパネルデータ分析」の討論者として参加し、セッションの進行を行った。 <p>(2) 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学生を引率しての海外フィールドワークが実施できなくなったため、オンラインによる実施に対しても単位を認定するという方針が決められたのに伴い、2020年9月から2021年3月にかけてオンラインでの海外フィールドワークを企画し、ゼミ生に参加させた。・ゼミ生の2,3年有志で構成されたグループが実施したアジア太平洋地域の財政余力に関する研究が、経済学部ゼミナール協議会主催「学長杯プレゼンテーション大会」で優勝し、経済学部経済学会主催「学生懸賞論文」で金賞を受賞した。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」に出演し、国際学科のPRを行うとともに、自身及び学生の研究を紹介した。	

3 次年度以降の計画・抱負

(1) 教育活動

・学部長の業務に時間を取られることが原因で、学生の研究活動や就活支援が疎かにならないよう、可能な限り時間を確保する。特にゼミ生とのコミュニケーションを密に取るようにしたい。

(2) 研究活動

・学部長としての業務に支障が生じることのないよう、研究活動の継続は断念することとしたい。